

五泉市有機農業実施計画

1. 市区町村
五泉市
2. 計画対象期間
令和 7年度 ～ 令和 11年度
3. 対象市区町村における有機農業の現状と5年後に目指す目標
<p>ア 有機農業の現状</p> <p>五泉市は、新潟県のほぼ中央に広がる蒲原平野にある県都新潟市の南東に位置している。土地利用は山間地が多い特性が反映され、面積351.9km²のうち森林が71%と最も多く、次いで農地が15%となっており、全体の9割近くを森林と農地が占めている。</p> <p>また、阿賀野川と早出川の扇状地からなる肥沃な土地に恵まれ、その豊かな自然環境に恵まれた立地条件を活かし、稲作単一経営と、水稻と園芸の複合経営の盛んな地域である。</p> <p>現在、物価高騰などによる農業経営の圧迫、農業従事者の減少による担い手不足と当市の農業を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっている。</p> <p>そこで、生産者、JA、市などの関係機関からなる五泉市有機農業推進協議会を設立し、①「有機農業による五泉産米の高付加価値化」、②「産出した米を全量学校給食へ活用することでの食育を通じた有機農業の周知」、③「食育を通じた農業への理解促進による次世代の育成」を目的とする、「ごせんオーガニックビレッジ宣言」により持続可能な農業の実現を図る。</p> <p>イ 5年後に目指す目標</p> <p>対象品目：水稻</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有機農業取組面積 R5(策定前):1.2ha → R11:10ha ○有機農業取組者数 R5(策定前):1人 → R11:5人 ○有機農業による学校給食への活用数量 R5(策定前):0t → R11:44t
4. 取組内容
<p>ア 有機農業の生産段階の推進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規生産者獲得に向けた取組 <p>紙マルチ田植機による栽培、慣行田植後の乗用除草機を活用した栽培による省力化、効率化や経営分析等をまとめたマニュアルを作成し、研修会等により新規生産者の獲得を図る。</p> <p>イ 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校給食への活用 <p>有機栽培で生産された有機農産物を市内小中学校の学校給食で活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消費促進活動 <p>消費拡大に向け、関係団体と連携しセミナー等のPR活動を通じて消費拡大につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有利販売促進 <p>生産者に対し、販路開拓に向けたセミナー等を開催し、有利販売につなげる。</p>
5. 取組の推進体制
<p>ア 実施体制図</p> <pre> graph TD P["【生産】 農業者 (有機栽培による米の生産)"] T["【技術・専門】 県普及指導センター (栽培指導、マニュアル作成)"] S["【事務局】 五泉市 (全体調整)"] D["【流通・販売・技術】 JA 新潟かがやき (出荷・流通・販売・栽培指導)"] Sp["【専門】 新潟県農業共済組合 (防除関係、共済保険等)"] C["【消費】 市内小中学校 (学校給食の活用)"] U["【新潟大学農学部】 情報共有・助言"] P <--> 連携 T P <--> 連携 S P <--> 連携 D T <--> 連携 S S <--> 連携 D S <--> 連携 Sp S <--> 連携 C U <--> 情報共有・助言 S </pre> <p>イ 関係者の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ○五泉市：協議会の事務局として全体的な調整を行う。 ○JA新潟かがやき：有機農産物の出荷・流通・販売や必要資材の調達調整、技術的支援を行う。 ○新潟県新潟農業普及指導センター：栽培指導、マニュアル作成など技術的支援を行う。 ○新潟県農業共済組合：防除関係の調整、共済保険等の支援を行う。

6. 資金計画
別紙のとおり
7. 本事業以外の関連事業の概要
五泉市の「令和7年度主要重点施策」や「第2次五泉市総合計画施策別実施計画」にある、有機農業に取り組む生産者の増加や有機農業により生産されたお米を活用することにより、食育と環境に関する学びを創出する取組を行う。
8 みどりの食料システム法に基づく有機農業の推進方針について
新潟県と共同で策定した「新潟県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」に沿って推進を行う。
9 その他(達成状況の評価、取組の周知等)
五泉市有機農業推進協議会で有機農業取組面積、栽培日誌及びデータ収集後の取りまとめた数値で検証を行う。

6 資金計画

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
区分	1. 生産 7,010千円 ・農機具購入 ・新規生産者向け技術指導 2. 流通、加工、消費等 3,165千円 ・学校給食への活用 ・生産者向けセミナー	1. 生産 510千円 ・マニュアル作成 ・新規生産者向け技術指導 2. 流通、加工、消費等 2,500千円 ・学校給食への活用	1. 生産 ・新規生産者向け技術指導 2. 流通、加工、消費等 4,000千円 ・学校給食への活用 ・生産者向けセミナー	1. 生産 ・新規生産者向け技術指導 2. 流通、加工、消費等 6,000千円 ・学校給食への活用	1. 生産 ・新規生産者向け技術指導 2. 流通、加工、消費等 8,000千円 ・学校給食への活用